

研究成果報告書 (掲載期間 2024. 11. 1-2026. 3. 31)

学術論文

- (1) 内海能亜, 吉田昌史: 偏心・偏肉管および極薄肉管の曲げ加工技術, M&P Newsletter, 2024, 68 号, pp. 2-3.
- (2) 内海能亜, 吉田昌史, 中島邦斗: 衛星用極薄肉導波管をターゲットとした曲げ加工技術, ふらすとす, 7 巻, 2024, 83 号, pp. 709-713.
- (3) 内海能亜, 中村格芳, 吉田昌史: 大学における材料加工の教育事例, ふらすとす, 8 巻, 2025, 86 号, pp. 59-62.

学会発表

- (1) 内海能亜, 中島邦斗, 吉田昌史: アルミニウム合金偏心円管の回転引曲げ加工における変形挙動, 第 75 回塑性加工連合講演会, 2024 年 11 月, 沖縄.
- (2) 内海能亜, 中島邦斗, 吉田昌史: アルミニウム合金偏肉方形管の曲げにおける加工特性, 2025 年度塑性加工春季講演会, 2025 年 5 月, 姫路.
- (3) 内海能亜, 吉田昌史: 2 次成形としての曲げ加工における偏心管の変形挙動, 日本鉄鋼協会, 第 190 回秋季講演大会, 2025 年 9 月, 北海道.
- (4) 吉田昌史, 山崎誠志, 内海能亜: 複合処理によるチタン表面への窒化アルミニウム皮膜の生成, 第 177 回日本金属学会, 秋季講演大会, 2025 年 9 月, 北海道.
- (5) N.Utsumi: Technical seminar on Industrial Tube Manufacturing and Forming, Techniques, Materials, and Solutions, Bending Technology for Tubes and Profiles, Tube Southeast Asia 2025 BITEC, September 2025, in Bangkok (Online).
- (6) 内海能亜, 齋藤佳久, 吉田昌史: 素管を偏肉させた方形管の曲げ加工における変形挙動, 2026 年度塑性加工春季講演会, 2026 年 3 月, 浜松.

学外競争的研究資金獲得

- (1) 内海能亜: 公益財団法人三五モノづくり財団, 研究開発助成, アルミニウム合金押出し偏肉方形管の曲げにおける加工および変形特性, 2024.

その他

- (1) 桑原利彦, 内海能亜, 白寄篤, 古島剛, 森昭寿, 吉田佳典, 吉村英徳: 部材の極限軽量化に資する偏肉鋼管加工技術研究会成果報告書, 偏肉管の曲げ加工技術, 日本鉄鋼協会, 2025, pp. 36-47.